

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 令和2年度(2020年度)事業報告

(敬称略)

定款第5条各項により

第一項 ピアノを中心とする音楽および音楽教育に関する講習会、研修会、演奏会等の開催

■ピティナ・ピアノ指導セミナー Vol.53 (指導者育成委員会)

令和2年度(2020年度)は4月18日(土)・19日(日)に、浜離宮朝日ホール小ホールでの2日間開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため実地開催を断念。2020年10月12日から16日の5日間でのオンラインセミナーに振替となった。

日程：2020年10月12日(月)～16日(金)

会場：オンライン

講師：今井顕、内田伸子、木幡律子、丹内真弓、中嶋恵美子、永瀬礼佳

■レッスン見学(指導者育成委員会)

令和2年度(2020年度)は、延べ10名の講師によるレッスン見学を実施。うちオンライン開催が3件(新型コロナウイルス感染拡大の影響で20件見送り)。指導者ライセンス全級合格者や実績のある若手指導者も講師を務め、延べ143名の会員が受講した。

■ピティナ・ピアノセミナー(本部事務局)

令和2年度(2020年度)は、541箇所で開催(その他、新型コロナウイルス感染拡大の影響で253件見送り)。

■ピティナ・eラーニング(本部事務局)

令和2年度(2020年度)は、ピアノ指導に関するコンテンツを167件公開。年度末時点の登録者は3,754名。

■研究発表ピティナコンサートシリーズ(コンクール運営委員会)

○2020年度第44回ピティナ入賞者ガラコンサート

日程：令和3年(2021年)3月28日(日)

会場：第一生命ホール

出演者：第44回ピティナ・ピアノコンペティション G級・Pre 特級・特級7名

※市松模様の席数に限って販売。また、YouTubeライブで生中継を実施。新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者認定のため、特級グランプリ、尾城杏奈の出演をとりやめ、5月19日に代替公演を実施。

○グランミューズ・サロン

令和2年度(2020年度)は2020年12月～2021年2月にかけて3件実施。主催者となったピアニストは、金子淳(東京：金魚坂)、木米真理恵(東京：名曲喫茶カデンツァ)、田崎悦子(東京：B-tech Japan Studio Tokyo)。

■研修交流会アンサンブルパーク(アンサンブル・国際交流委員会)

令和2年度(2020年度)の開催は無し。

■トークコンサート(ステップ運営委員会)

令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての地区で開催を中止した。

■プレアドバイザー研修会(アドバイザー派遣委員会)

令和2年度(2020年度)は、動画閲覧によるメッセージ記入に加え、Zoomを使ったオンラインディスカッションを実施する形で5回の研修を実施し、29名が受講した。その成果により、2020年度中に33名が正アドバイザーとして承認された(※)。※2020年2月から2021年1月までにプレアドバイザー研修を終えた方が対象

■ピティナ徹底研究シリーズ2021 小林仁 J.S. バッハ：インヴェンション講座(演奏研究委員会)

日程：令和3年(2021年)1月13日(水)・27日(水)、2月9日(火)・24日(水)

会場：東音ホール(オンライン配信)

出演：小林仁

※緊急事態宣言の発出に伴いチケットの販売を途中で停止し、生配信のオンライン・セミナーをGo to イベント対象公演として実施。(実地の来場は各回3名程度)。

第二項 ピアノを中心とする音楽指導者および学習者等の技能の審査、コンクール等の実施

■第44回ピティナ・ピアノコンペティション（コンクール運営委員会）

予選・本選：

ソロ部門 G 級・Pre 特級・特級のみ開催。（第一次予選は動画審査にて実施）。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ソロ部門 A2～Jr.G 級、デュオ部門及びグランミューズ部門は開催中止となった。

全国：ソロ部門 G 級・Pre 特級（以上、第一生命ホール）・特級（サントリーホール）のみ開催。

■2020 課題曲チャレンジ

ピティナ・ピアノコンペティションの開催中止を受け、動画提出型の代替企画「課題曲チャレンジ」を実施。ソロ部門で 6,752 名、デュオ部門では、537 名の参加があった。

・ピティナ・ピアノコンペティションへの審査員派遣（審査員選考委員会）

令和 2 年度（2020 年度）は、24 地区のピティナ・ピアノコンペティションへ 104 名、延べ 152 人の審査員を派遣した。また、中止になった部門の代替として実施した課題曲チャレンジの採点に 542 名、延べ 1,431 名に協力いただいた。当該年度に初めて審査を行ったのは 31 名。

■ピティナ・ピアノ演奏検定（コンクール運営委員会）

令和 2 年度（2020 年度）は開催中止。

■ピティナ・ピアノステップ（ステップ運営委員会）

令和 2 年度（2020 年度）は 207 地区で開催。2020 年 4 月～6 月は中止。

・ピティナ・ピアノステップへのアドバイザー派遣（アドバイザー派遣委員会）

令和 2 年度（2020 年度）は、ステップへ 464 名、延べ 622 人のアドバイザーを派遣した。当該年度に初めて正アドバイザーとしてアドバイスをを行ったのは 39 名。

■ピティナ・ピアノ指導者ライセンス（指導者育成委員会）

令和 2 年度（2020 年度）は、延べ 29 地区で指導実技審査・演奏実技審査・レポート審査を実施。うち 15 地区はオンラインでの開催。受検者は延べ 574 名（※）。※過去最高となった 2019 年度より約 100 名ほど多い

■全国一斉課題曲筆記試験（指導者育成委員会）

令和 2 年度（2020 年度）は、延べ 8 地区で開催。うち 3 地区はオンラインでの開催。春期はコンペティション課題曲、秋期は提携コンクール課題曲を題材とした筆記試験（指導者ライセンス筆記試験、ing プログラム Writing）を実施。受検者は延べ 189 名。

■提携コンクール（理事会）

外部団体主催のコンクールに Web 申込システムの提供とステージポイントの共有を行った。令和 2 年度（2020 年度）は 34 種類／174 地区のコンクールと提携。申込数は延べ 18,758 件。

第三項 音楽および音楽教育に関する調査研究、情報公開

■機関誌「Our Music」350 号より計 6 回発行（理事会）

350 号を「令和 2 年度（2020 年度）ピティナ・ピアノコンペティション参加要項」として刊行。

■新曲作品募集とその選考（本部事務局）

譜面審査：

令和 2 年（2020 年）11 月 24 日（火）

令和 3 年（2021 年）1 月 18 日（月）

令和 3 年（2021 年）2 月 22 日（月）

応募 86 曲から 8 曲をコンペティション課題曲候補として検討。

■ピティナのウェブサイト上で「ピアノ曲事典」の掲載・更新（メディア委員会）

ピティナ・ピアノ曲事典（ウェブサイト）の構築。令和3年（2021年）3月末時点で、約2,300人の作曲家情報と7万4千曲の作品情報を公開中。令和2年度（2020年度）は過去のコンテンツ情報のメンテナンスに時間を費やすことができ、特に動画登録数は2020年4月時点の9,500から11,000へと大幅に伸長した。令和2年（2020年）10月より「ピアノ曲事典オーディション」を開始するなど、あらたな整備項目を増やしている。

■公開録音コンサート（メディア委員会）

令和2年度（2020年度）は中止や延期が相次ぎ、計4回のコンサートを開催（通算開催数：258回）。

■音楽総合力UPワークショップ（メディア委員会）

「音楽家としての自立」をテーマとした10組の講師による連続講座（通算10回目）。2020年4月の第1回から7月の第4回までを中止とし、第5回から全6回実施した。講師はサクソフォン奏者の須川展也や作曲家の中川俊郎など。

■オンデマンド楽譜印刷・製本サービス「ミュッセ」（本部事務局、課題曲選定委員会）

商品を自由な組み合わせ・曲順で楽譜集にまとめられるオンデマンドの楽譜印刷・製本サービス。販売中の作品数は8,824点（2021年5月13日時点）。個人出品物の販売に加えて、ピティナ事業に関わる作品の販売として、コンペ課題曲やアナリーゼ楽譜の単品販売のほか、編曲オーディションの受賞作品を褒賞として販売。

第四項 ピアノを中心とする音楽教育に関する国際交流事業の実施

■世界の諸地域との交流・情報交換

○イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ロシア、ポーランド、トルコ、アイルランド、フィンランド、中国、香港、韓国、タイ、フィリピン、モンゴル、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、MTNA(The Music Teachers' National Association of U.S.A.)、EPTA(European Piano Teachers Association)、FACP(Federation for Asian Cultural Promotion)等との情報交換。

○浜松国際ピアノコンクール事務局・仙台国際音楽コンクール事務局（日本）、リスト国際コンクール事務局（オランダ）、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール事務局・クレーブランド国際ピアノコンクール事務局・ジーナ・バックアウワー国際コンクール事務局（アメリカ）、アーリンク・アルゲリッチ財団等との情報交換。

○来日アーティスト

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、コンペティション審査員やその他の音楽家の海外招聘を見送り、ピティナ・ピアノコンペティション全国大会G級・Pre特級・特級は日本在住審査員のみで審査した（特級は11名での審査）。過去の海外招聘教授・音楽家とは、メール等を使い、安否確認や情報交換を行った。

第五項 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ピティナ・学校クラスコンサート（理事会）

○学校クラスコンサート開催数

・令和元年（2020年）度は14校で開催。

内訳：（出資元別）支部・ステーション3校、自治体・教育委員会6校、文化庁派遣事業3校、学校主催2校

※開催予定だった20校は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止。

■ピティナ・ピアノ教室紹介（理事会）

12,813件（2020年3月末日時点）

■ピティナ伴奏者紹介（理事会）

41件（2020年3月末日時点）

■ピティナ調律師紹介（理事会）

54件（2020年3月末日時点）

■「キャリア支援室」開設（理事会）

・令和2年（2020年）7月17日（金）・20日（月）、オンラインイベント「音大生のためのキャリアセミナー」開催（講師：大内孝夫）。2日間延べ50名が参加。

■寄付金（理事会）

下記のプロジェクト、または関係団体への寄付として合計20,438,348円／1,347件の寄付を集めた（2021年3月31日時点）。寄付方法は、ピティナ・ウェブサイトからの申込（クレジットカード等）、指導者賞賞金による寄付など。

ピティナのプロジェクト：

ーコロナ禍での寄付キャンペーンの展開…コロナ禍の緊急支援、特級ファイナル開催支援基金

ー各事業への寄付…ピアノ教室紹介、ピアノ曲時点を中心に、ピティナの全事業が対象

関連団体：公益財団法人福田靖子賞基金

■新型コロナウイルス感染拡大に応じた動き、諸対応（理事会）

・ウェブサイトで「Stay at Home, Keep on Music」特集、読み物の連載

・経済産業省および内閣官房新型コロナウイルス感染拡大対策推進室による監修でピアノ教室のための業界別「感染拡大防止ガイドライン」を作成（2020年5月～随時更新）、コロナ室「業種別ガイドライン」に掲載された。

・同ガイドラインに準拠して東京都中小企業振興公社による感染防止対策助成事業について会員向けに申請を呼びかけるほか、各種補助金の情報提供を行った。

・文化庁「芸術文化活動の継続支援事業」について、フリーランス個人に確認番号を発行する統括団体となり、319人に番号発行し、うち267人が補助金の交付決定を受けた。

・経済産業省「GoTo イベント」キャンペーンに販売事業者兼主催者として、セミナーを中心にピティナの催事を登録し、2021年3月末までに1,005件、562,000円の給付を受けた（購入者が20%の割引特典を得た）。

■当協会の目的達成に協力する団体等との連絡提携

○公益財団法人 福田靖子賞基金

○公益社団法人 日本演奏連盟

○一般社団法人 日本ピアノ調律師協会

○公益社団法人 日本オーケストラ連盟

○一般社団法人 日本楽譜出版協会

○一般社団法人 日本作曲家協議会

○公益財団法人 東京二期会

○公益財団法人 音楽文化創造

○一般社団法人 日本弦楽指導者協会

○一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会

○公益財団法人 音楽鑑賞教育振興会

○仙台国際音楽コンクール

○一般社団法人 FACP 日本

○アーリンク・アルゲリッチ財団

○音楽教育を守る会

○日本民間教育協議会

○デジタルアーカイブ学会

○日本音楽学会

○日本音楽芸術マネジメント学会

○日本音楽教育学会

○全国の市町村及び市町村教育委員会

○全国の音楽学校、音楽大学

○当協会団体会員（58団体）

以上の団体との情報交換

以上